



\*\*2007年5月改訂(第2版)  
\*1999年1月改訂

\*\*貯法: 気密容器、遮光・室温保存  
(「取扱い上の注意」の項参照)  
\*\*使用期限: 容器、外箱に表示

# 日本薬局方 サフラン

## 本草サフラン-R

日本標準商品分類番号	
875100	
承認番号	(60AM)第1156号
薬価収載	1988年3月
販売開始	1984年3月

### ◇組成・性状

日本薬局方 サフラン

販売名	性状
本草 サフラン-R	本品は細いひも状で、暗黄赤色～赤褐色を呈し、長さ1.5～3.5cm、3分枝するか又は分離し、分枝する一端は広がり他方は次第に細まる。 本品は強い特異なおいがあり、味は苦く、だ液を黄色に染める。 本品を水に浸して軟化し、鏡検するとき、柱頭の先端には長さ約150 $\mu$ mの多くの突起があり、少数の花粉粒を伴う。

### \*\*◇取扱い上の注意

- (1)本品は天産物であるため、製造ロットにより多少色調等が異なることがあるが、品質には影響ない。
- (2)本品の品質を保持するため、直射日光を避け、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管し、開封後は湿気に注意して、フタを十分に閉める等、取扱いに注意すること。

### ◇包装

100g

### \*\*◇文献請求先

本草製薬株式会社 学術部

〒468-0046 名古屋市天白区古川町125番地

### ◇効能・効果

生薬製剤の調剤に用いる。

### ◇用法・用量

生薬製剤の調剤に用いる。

### ◇使用上の注意

#### \* (1)重要な基本的注意

- 1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 2)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

#### (2)副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

頻度不明	
過敏症 <sup>注1)</sup>	発疹等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

#### (3)高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

#### \* (4)妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。[流産の危険性がある]

#### \* (5)小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が少ない]